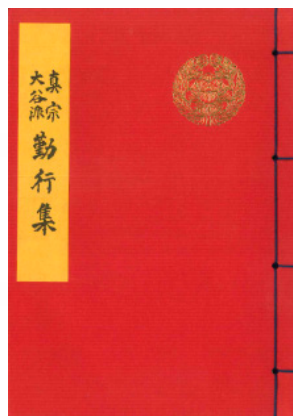


なぜ『正信偈』をお参りで読むのか？



うに定められたのです。

答え

『正信偈』とは、『正信念仏偈』といい、真宗門徒は朝夕のお勤めやご命日のお参り、法事等によく読まれています。

『正信偈』は、親鸞聖人がおつくりになったお聖教であります。お釈迦様の説かれた教えが、インド、中国、日本と七高僧（七人の僧）によって、親鸞聖人まで伝えられてきたことの感動が記されており、また、『正信偈』は親鸞聖人がお念仏の教えに出会った喜びのうたであります。

私たちが日頃から『正信偈』を読むということは、お念仏の教えに出会い、仏様の願いに遇うことが願われております。今日も僧侶だけでなく、ご一緒にお手合わせいただく方々と「南無阿弥陀仏」とお念仏申し、『正信偈』を唱和すれば、お念仏の前から響き流れ、本願寺の第八代蓮如上人が、親鸞聖人のお言葉を親しみやすく、お念仏の教えに出会っていただきたいと願って『正信偈』を日頃から読むよ

今から約五百年前に遡りますが、本願寺の第八代蓮如上人が、親鸞聖人のお言葉を親しみやすく、お念仏の教えに出会っていただきたいと願って『正信偈』を日頃から読むよ

（第13組 善福寺 野村 正示）

報告

夏の御文法要 勤修

第7組 圓乗寺前住職

多田 孝圓師

去る6月24日（水）猛暑の中、夏の御文法要が勤まりました。



圓乗寺 多田孝圓師

御講師には、圓乗寺前住職多田孝圓師にお越しいただき、講題「お念仏の呼びかけ」のもとにお話いただきました。



別院門徒会定期総会 開催報告

同日、天満別院門徒会定期総会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

天満別院門徒会

- ・2019年度事業・会計報告
- ・会計監査報告
- ・2020年度事業計画（案）
- ・財政基盤検討委員会（答申）
- ・その他

以上

全議案、全会一致で承認されました。



門徒会定期総会の様子

告知

7月 定例法話

定例法話は、多彩な講師陣がわかりやすく真宗のみ教えをお話ししてくれます。7月の定例法話は左記の通り開催されます。

日時 7月27日（月） 午後1時30分

場所 天満別院 本堂

御講師 第7組 教應寺住職

建部 智宏師

講題 「仏さまとの出会い」

建部師には昨年度までの3年間、天満別院 同朋の会の御講師としてお越しいただいております。再会できますことを楽しみにしております。

感染症対策には十分に配慮しております。

輪番雑感

「無宗教の想送式」に

流されないために

輪番 武宮 信勝

ここ数年の葬儀式は、「家族葬」が多くなってきた。新型コロナの影響もあるが、何か当たり前になってきたように思える。

先日、よく別院に参拝される、あるご婦人が突然自宅で亡くなった。心筋梗塞という診断であった。ご家族はもとより、周囲の方々も驚きを禁じ得なかったと聞く。私も二日前に別院で声掛けをしていたので正直驚いた。お通夜・葬儀は、自宅近くの集会場で行われ、参列者もごく限られた人々で、全員マスク姿であった。

ご婦人は「別院門徒会」の現役員でもあった方でした。他の役員さんから、ご逝去のお知らせも無かったことへの寂しさの声も、別院に寄せられた。

亡き人への思いを語り合う場。別れを惜しむ場がどんどん失われ

ていく。あらためて人と生まれた私たちに「葬儀式」とは？を問わずにおられない。

過日、ある新聞でお坊さんのいいないお葬式「無宗教の想送式」提案の記事を読んだ。

名古屋市内にナイアンドパートナーズを立ち上げた大森嗣隆氏はインタビューの中で、「自分は、22年間葬儀社勤務をし、葬儀における参列者・喪主の不満等をアンケート調査して、今『無宗教の想送式』を生み出した。その背景には、読経が長い、特定のお寺を持たない。費用が高い割には納得感が湧いてこない等々を考察し、『想送証明書』に署名して黙禱してもらい、故人を偲ぶ動画の上映、献花を行うことを提案した。」と語っていた。

私は、宗教的情感を備え、人々が愛別離苦の悲しみを乗り越えるに接するのが僧侶の大切な役割だと自負している。更に言うなら人間の死に対しての何らかの問答ができるのは宗教しかないと思っ今日まで生きてきました。

浄土真宗は

「なごりおしくおもえども、

ちからなくしておわるときに、

かの土へはまいるべきなり」

『歎異抄』

「愛別離苦におうて、

父母妻子の別離を

かなしむとき、

仏法をたもち、念仏する機、

いう甲斐なくなげき

かなしむこと」

『口伝鈔』

と大切に伝えてきました。阿弥陀仏の御本願は、凡愚の身を生きる我々を、必すお浄土に迎い入れんとしてくださっています。

せっかくの「死」は成仏する証であります。ご先達は皆、仏さまとなつて我々を見守っております。いのちをかけて、今一度「葬儀式」の意味をたずねてみましょう。そして真実を後世に受け継いでバトンタッチするためにも、「無宗教の想送式」に流されることなく、真宗の葬儀を継承していきましょう。